

交渉速報

J R 貨物労組本部業務部

2018年5月22日

No.16

黒字決算は組合員の努力の結果である！ 組合員の努力に要求満額で報いよ！

～2018年度 夏季手当第2回交渉報告～

中央本部は、本日15時30分より第2回交渉を行ない、会社から収入動向について説明を受けました。主な内容は以下の通りです。

【鉄道事業部門】

1. コンテナ輸送の4月の収入動向は、自動車部品輸送が好調に推移したほか、トラックドライバー不足により路線貨物の荷動きが好調であった。また食料工業品・エコ関連物資が堅調に推移した結果、対計画101.7%となった。一方で農産品や紙パルプについては需要の落ち込みなどにより減送となった。
2. 車扱輸送については平均気温が平年より高く推移したことから、石油及び重油の需要が減少したことを受けて減送となり、車扱全体で対計画△98.6%となった。コンテナ及び車扱の合計は対計画101.4%、対前年100.8%となった。
3. 今年度に入り、4月と5月は比較的堅めの収入計画を立てている。本日時点での収入については対計画101.8%であり、計画を達成している状況である。今後、基本運賃10%引上げなどの施策を着実に進めることで計画を達成していきたい。

【関連事業部門】

1. 昨年度は鉄道事業において大型物件の賃料改定や東京レールゲートに伴う既存の施設の契約解除により、減収となった。また、関連事業ではマンションの分譲収入が計画に届かず、減収となった。
2. 今年度は、鉄道事業で東京レールゲートの建設推進をはかるとともに、新規貸付や、既存物件の賃料維持を行うと共に業務費・修繕費を的確に執行していく。関連事業では八王子のマンション・商業施設を着実に進め、計画達成に向けて取り組む。

【組合の主張】

1. 昨年度決算において、鉄道事業部門の黒字化を継続し、かつ過去最高の利益を計上する結果となった。また、現時点での収入動向においても前年度を上回る結果となっている。したがって夏季手当について抑制を行なう理由はない。組合員の期待を裏切るような姿勢は認められない。
2. 職場では組合員は一生懸命頑張っている。社員の業務に対するやりがいやモチベーションを向上させるためには社員に対してどのように報いるかである。その方法は要求に対して満額をもって回答することであり、真摯に交渉に臨むこと。

【会社の回答】

1. 社員が今回の夏季手当に大きな期待をもってしていることは認識している。引き続き真摯に交渉に臨む。
2. 収入状況は対計画ではほぼ順調に推移している。したがって今後の交渉で「貴組合の要求根拠」を受けて「会社の考え方」が示す。その中で議論を積み上げていきたい。

最後に中央本部は改めて会社は計画達成に責任を持ち、手当を抑制にすることは断じて許さないことを通告し交渉を終了しました。

以上

次回、第3回交渉は5月31日（木曜日）です。